

212
特253

986

和十年四月

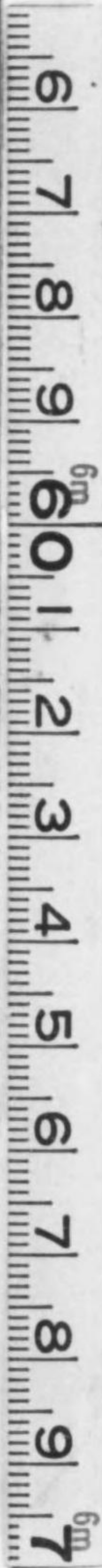
新日本同盟會報

容 內

英吉利に於けるファツシヨ運動
其の他會報數件

伊藤龜雄氏

始



3
3

新日本同盟趣意書

時勢は今方きに急轉しつゝあり。之を國內的に見れば全國に亘り各社會を通じて混亂動搖の狀態々たり。更に對外的に案ずれば國際の關係日に複雑を加へ列強の施爲は着々新精神を注入して世界的に一新生面を展開し來り内外共に一大轉機を齎せん。然るに我國民の多數は今果して何の狀ぞ。内外の情勢に對して徹底的理解を有せず、舊習に拘して姑息に流るゝもの、輕佻にして徒らに妄動するもの、消極に偏して獨善に陥るもの、消々相率ひて公私道義の類廢を調致す。之が匡救は一日を忽ふす可らず。私に思ふ人生の眞意義に立脚せる國家生活の充實は、弛緩せる風紀を革正し、動搖せる人心を安定し進んで我國國際的地位を幸福ならしむべき唯一の前程なり。而して之を爲すの途は人格を本位とする同志の結束を計り、廣義に於ける政治的教養を實物的に完成し、公正なる批判の目標を作るにあり。即ち吾人は先づ内政、外交、社會各方面の實勢に關し徹底せる識見と根柢ある徳操とを涵養し、此に公正なる理解を得るを以て當面の一大急務なりと信ず、而かも一人の見て以て正當とする處他人これを非とし、一黨の是とする所他黨之れを排す。故に公正なる批判は公正なる同志の結合と共に冷靜なる攻究に特たざるべからず。本會設立の大眼目は此に存す。吾人は上述の主旨を以て中央地方を通じ同志相結び、一、内政、外交、社會、經濟、藝術等國民生活に切實なる重要問題に就き精確なる智識を修養し、洗練せる意見を紹介し相互智見の啓發に力むると共に更に一般に之れを宣傳普及し

二、政治、社會、經濟其他各方面に於て各自相警めて腐敗せる習俗に陥らざらん事を期すると共に進んで國家社會を純化するに努めんとす。

吾人の意圖實に此の如く、既に公正なる理解を得ることを眼目とす。即ち政黨政派を超越し、既成何れの政黨に屬するも屬せざるも、吾人の同志たるに何等の交渉なし、吾人は廣く同志を糾合せんと欲す。地方人士の奮起を以て刻下の急務と信ずると共に、至純の徳操と清新の氣象と不羈の智見とが多く青年に期待せらるゝを以て、地方青年の間に普く同愛の士を求む。斯くて相互の啓發自覺は延びて社會的正義の確立となり、世界的正義の信條を宣明するに至るべきを信ず。敢て江湖に憑ふる所以也。(大正十五年二月)

英吉利に於けるフアツシヨ運動

伊藤 龜雄 述

英吉利のオーストラリアを中心としたフアツシヨの話は簡単に申上げて見やうと思ふ。御承知の通り此數年來世界的の不景氣で、何處の國へ參つても不景氣で苦しんで居る者の悲しい聲が聞える、常備兵の居ない國でさへ多數の失業者があつた。現に亞米利加の如き千萬人以上の失業群がある。此失業者救済の爲にルーズベルトが非常な努力をして居ることは御承知の通りである。所が斯う云ふ深刻な世界的の不景氣にも拘らず、不景氣の眞唯中に在りて、景氣の好いやうに見えるものが二つある。

其一つは軍需品工業であり、もう一つはフアツシヨである。奇妙なことに各國のフアツシヨ運動は不景氣と殆ど並行して進行して居るやうに見える。或る人に言はせると不景氣であるが故にフアツシヨが起るとも言つて居る位である。此に對してフアツシヨと不景氣といふものは餘程縁故がある。フアツシヨ自身から云ふと、フアツシヨは非常に景氣が好い、何處の國へ行つても多少のフアツシヨが存在して居る。歐羅巴の大部分の國は既にフアツシヨになつて居る、南米も其通り、バルカンも矢張りフアツシヨの勢力範圍になつて居る、東洋を見ても、土耳其、波斯、支那等何れも皆フアツシヨである。或る西洋人などに言はせると、日本もフアツシヨのリストに這入つて居ると言つて居る。さういふやうにフアツシヨは現在非常な好景氣で、或は好景氣と云ふ點から言つたら、軍需品工業を凌駕するかも



特253
986

知れぬと思ふ位の好景氣である。併ながら英吉利は議會政治の本場であり、幾らフアツショが世界的に横行しても、英吉利だけは大丈夫だらうと、斯う云ふ風に思つて居つた人も大分あつたやうである。

所が流行の波は恐いもので、議會政治の本家本元であり、大丈夫フアツショは這入るまいと言はれて居つた英吉利にも、何年前からフアツショ運動が内部から起つて來た。勿論英吉利のフアツショ運動は、獨逸、伊太利其他のフアツショ運動と違つて居る點もある。伊太利式、獨逸式に行くとフアツショ運動は必ず兵力を伴ふ、皆私兵を持つて居るのである。併し英吉利のモズレーのフアツショ運動はそれまでには行つて居らぬ。又モズレー自身の言ふ所に依ると、我々は如何なることがあつても兵力は用ゐぬと言つて居る。其點は確に違つて居る。併ながら假令伊太利からの直輸入でないまでも、餘程ムツリニエ其他の感化を受けて居ることは確かな事實である。斯う云ふ工合に英吉利にもフアツショ運動が起つて居るのである。殊に世界の注意を強く喚び起したのは昨年六月七日のオリムピヤの大會である。

御承知の通りオリムピヤと申すのは、博覽會場などに使ふ大きな建物である。其ホールには約一萬五千の人が這入れる、其廣大なるオリムピヤの建物を借りて、昨年六月七日にモズレー一派の大デモンストレーションを行つたのである。大會の二三日前から既に入場券が賣切れになると云ふ盛況であつたさうで、新聞の報ずる所に依ると、當日の入場者は約一萬五千となつて居る。そこで倫敦の警視廳でも相當の警戒をした。ロンドン・タイムスの報ずる所に依ると、其オリムピヤの會場内には警官は入れない、如何なる場合でも主権者の請求のない限り、さう云ふ會場の中に警官は入れないのが、英吉利の警察の建前になつて居る。オリムピヤの建物の中には警官は入れない、一萬五千の人が出入りする爲に、其交通整理をする必要がある、又屋外の取締と云ふやうな關係で、警視廳からは七百六十人の警官を派遣したと云ふ。其オリムピヤの大會に於て、御大のモズレーは無論のこと、モズレーを護衛するフアツショ

の新銳とでも申さうか、さう云ふ何百人の人達が、皆例の伊太利式の黒シャツを着て場内に配置された。モズレーが立つて演説をすると、豫期された如く、或は豫期以上に妨害者が現れた。それは共產黨の連中或は獨立労働黨の連中、斯う云ふ人達が大分這入つて居て、盛にモズレーの演説を妨害をする。それで會場の整理の爲めに、さう云ふ妨害者を屋外に引出す爲に、男の妨害者に向つては男が、女の妨害者に向つてはフアツショの女の人がそれを場外に引摺り出して、其時に組打ちが始まる、フアツショの連中が妨害者を殴る、蹴ると云ふやうな混亂が起つて、十何人かの負傷者が出來たのである。其爲に其事が議會の問題になつて、内務大臣なども相當の取締をすると云ふことを明言せざるを得なくなつたと云ふやうな譯である。

さう云ふ譯で此オリムピヤの大會が非常に多數の人を集めたのであるが、此んな事件が起つた爲に、大分新聞が書立てたので又議會の問題にもなつた、さう云ふことからモズレーのフアツショ運動と云ふことが一層闡明に人の記憶に映つるやうになつたのである。

そこで此運動を指導するモズレー其人に就て少しく述べて置きたいと思ふ。モズレーの家は十八世紀の終りの頃に皇帝からバロン・リットルのタイトルを貰つた相當の家柄で、親爺は保守黨員で有名な大地主である。何百萬圓とか何千萬とか餘程の資産家で、其息子として生れたのである。モズレーの奥さんと云ふのが歐羅巴戰爭中より長い間外務大臣をして居つたカーゾン卿の娘である。さう云ふ階級の人であるから、御多分に漏れず政治界に出る時には保守黨として名乗りを揚げた。歐羅巴戰爭が休戦になつて始めて行はれた一九一八年の選舉にモズレーは保守黨の公認候補者の一人となつて選舉を争つて、目出度く當選した。此時は西洋流に數えて二十二歳である。御承知の通り英吉利人は二十一歳から被選舉權を持つて居るが、二十二歳の代議士は珍しい。家柄もよし、金もありと言つたやうな譯で、さう云ふことがモズレーの當選を助けたには相違ないが、兎に角二十二歳で代議士になつた。さうして其時は保守黨の中

でも理想派と言はるセシル卿、クペンテスチュアアの内閣である。所がモズレーは中々野心家であつて、傳統で縛られて居る保守黨の中では多分我慢が出来なかつたのであらうと思ふ。それから六年ばかりの間は辛抱して、餘り保守黨の代議士として活動をしなかつたが、其次に起つた一九二三年の總選挙に當つては、もう保守黨の着物を脱いで中立の着物を着て選挙を争つた。今までは保守黨の後援もあつたのであるが、自分から保守黨を追出して選挙を争つたのである。さうして運好く當選した。更に其翌年一九二四の總選挙には、今度は本當の労働黨を名乗つて出た。詰り保守黨から中立になり、更に労働黨に這入つた。此時の選挙はモズレーに取つては選挙區の關係が甚だ不利であつた爲めに到頭落選したのである。併ながら一度の落選位で政治家を斷念するやうな男でない。それから二年目の一九二六年に補缺選挙があつて、其補缺選挙に矢張り労働黨の候補者として出た。そこで日出度く再び代議士となることが出来たのである。それから三年の後に、即ち一九二九年のマクドナルドを首班として組織された第一次の労働黨内閣が出来、それにモズレーは大臣として這入つた。是が大臣になつた初めである。普通の人は次官、大臣と云ふ階段を経て行くのであるが、モズレーは無論次官になつたこともないし、保守黨から労働黨に入つて、一九二六年の選挙に労働黨の代議士として出たばかりで、さう云ふ経歴しか持つて居ないに拘らず一躍ランカスター工務大臣と云ふ要職に就いた。ランカスター工務大臣と云ふのは閣内の大臣ではない閣外大臣であるが、兎に角大臣には違ひない。無任所大臣として閣外に居るけれども、兎に角ミニスターの一人には相違ない。是は新聞で讀んだことでありますから、實際はどうか知らぬが、マクドナルドはモズレーの有爲の才を認めて、閣内の大臣にする積りであつた。けれども内部の反對があつた爲に閣外に置いたと云ふことである。

大臣としてモズレーはどう云ふことをやつたかといふと、今の内閣に這入つて居るマクドナルドの親友のトーマス、それから労働黨の領袖のランズベリー、斯う云ふ人がマクドナルドの内閣では主として失業救済事業を取扱ひ、

さう云ふ先輩を助けてモズレーが失業問題の解決に當つて居つたのである。所がモズレーは年も若いし、それにさう云ふ人達に比べると、急進的な考を持つて居るので、トーマス、ランズベリーのやうな人達のやり口は、如何にもスローモーションに見えて居つたらうと思ふ。それでモズレーとしてはさう云ふことから先輩と意見が合はず、遂に内閣を飛出した。一九二九年に、大臣になつて一年も経たぬ中に一九三〇年の五月には辭職してしまつたのである。

それから其年の十二月に意見書を發表して、自分の立場を明かにし、是からモズレーの政治的コースが變つて來たのである。翌一九三一年の二月になると、今度は正式に労働黨を脱黨して間もなく新政黨と云ふ新しい政黨を結成した。英吉利の政治家の中でも保守黨のウェストン・チャーチルなどは、保守黨から自由黨に行き、自由黨から又保守黨に歸つた政治家である。相當に動いて居る、チャーチルは沈まない政治家であると言はれて居るが、モズレーも矢張り沈まない政治家の一人であると思ふ。彼は新政黨を組織して、保守黨とも、又最近まで屬して居つた労働黨とも全く反對の立場に立つた。此頃からモズレーの色彩は濃厚に出て居る。新政黨を造つたのがファッシュョ運動の前提であつたかどうかは知らぬが、兎に角あとから考へて見るとファッシュョ運動をやる爲めの前提であつたやうに見えるのである。

それで一九三一年の九月には方々で演説會を開いて居るが、一番餘計人の集つたのがグラスゴーでやつた演説で、此時は二萬人ばかりの聴衆が集つた。併し其大部分はモズレーに對して反感を持つて居る聴衆で、殆ど演説が出来なかつた。警官の護衛の下にやう／＼會場の外に出ると云ふ位に酷い妨害を受けた。さう云ふ妨害を受けたにも拘らずモズレーが會場の側から自動車に乗つて出ると盛に石が飛んで來る、其間にあつてモズレーは泰然として群衆に向つて帽子を取つて振りながら其會場を去つたと云ふことである。斯んな風で其後もモズレーの運動に對しては到る所て妨害があつたのであるが、それを押切つて運動を續続したのである。一九三一年の十月に行はれた總選挙には随分酷

く叩付けられて、モズレー自身は勿論、モズレーの奥さん、それから新政黨から立つた十何人かの候補者も悉く落選して、一人も當選しなかつた。それで新政黨と云ふ名前はあつたのであるけれども、議會には一人の代議士も持つことは出来なかつた。それから約一年ばかり経つて一九三二年の九月になると、愈々正式にファッショの名乗りを揚げてブリテイッシュ・ファッショリスト・ユニオンと云ふ名前をモズレーが拵へた。尤も其前から英吉利にはファッショに關しては何んかの豫言者が居つたのである。英吉利の新聞王と言はれるデイリー・メールの持主のロザミアなどが其一人で、どうも英吉利は斯う云ふ状態ではいかぬから、ムツソリニーのやうな政治家が出なければいかぬと言つて、ファッショの起ることを歓迎するやうな文章をロザミアが發表して居る。併し豫言者はあつたけれども、實行者は出なかつた。言葉を換へて申すとロザミア一派の人達は猛獸ではない、彼等は猛獸の剝製である、虎のやうに見えるけれども虎ではない、虎の剝製である。モズレー自身は虎でも豹でもないと思ふ。假に猛獸の部類に入れた所で狼位のものでないか知らんと思ふのであるが、兎に角猛獸であり、或は猛獸の親類であり生きて居る、彼等の豫言者のやうに剝製でないことは確かである。さう云ふことからモズレーがファッショの御大となつた譯である。

兎にも角にも英吉利に於けるファッショ運動を今日までに發展させたのはモズレーの努力が與つて力あることは實際である。それにモズレーはさうした運動に成功するだけの要素を備へて居ると私は思つて居る。第一年が若い、今年三十九歳、數へ年の四十歳である。それに黒シャツを着て表へ飛出す位の勇氣を持つて居る、或はそれ以上の勇氣をも持つて居る。それに斯う云ふ大衆運動に缺くべからざる雄辯を持つて居る。加ふるに金も相當持つて居る、地方などで演説會を開く時には、ファッショの護衛隊を引連れて特別列車で出掛けやうと云ふ位の派手な運動をして居るのであるが、兎に角さう云ふ運動をするだけの金を持つて居る。それから先程申したやうな家柄も良いし、其外に近代の政治運動に缺くべからざる宣傳力を持つて居る、又都合の好いことに長い間ファッショの豫言者であつたロザミアの條件を備へて居る。

アが、自分の統轄の下に在る新聞を擧げてモズレーの運動を支持して居る。其爲めに實際の力以上にモズレーのファッショ運動が非常に大きく世間に映るのではないかと思はれる。兎に角斯う云ふ風にファッショ運動などには持つて來いの條件を備へて居る。

それならばモズレーは現在の問題に對してどう云ふ考を持つて居るかといふと、是は二つに分れて居る。第一は經濟に對するモズレーの考である、モズレーの意見に依ると、現代に於て一番大切なのは産業の革命である。生産者——此生産者と云ふのはモズレーの解釋に依ると、頭腦を働かせる者、筋肉を働かせる者、此二つを含んだことになつて居る——は國家の基礎である、國家の凡ゆる權力はさう云ふ生産者の手に置かなければならぬと云ふ。無論産業に對する國家の統制と云ふことも主張して居る、産業革命をやるには共產黨などの主張するやうな階級戰爭ではいかぬ、階級戰爭を止めるには資本家の側も労働者も共に國家中心で行かなければならぬ、さうすれば産業の上に於て争論もなくなり、ロックアウトもなくなる、ストライキもなくなると云ふことになる。これがモズレーの意見である。一方に於ては労働者を保護する、科學と産業の合理化と、生産力の増加に依つて労働者の賃銀を引上げやうと云ふのである。

斯う云ふ産業、經濟に關するモズレーの意見は、大體は伊太利の輸入であると私は見て居る。それから是もモズレーの批評であるが、さう云ふ風にして産業革命を行ふのには現在の機關ではいけない。現在の政治機關は、地方の代表者を以て議會を組織すると云ふことになつて居るが之れではいかぬ、地方代表を止めて或は農業、商業等の色々の區分があるが、さう云ふ風に區分して職業代表、職能代表に依つて機關を造る。それに依つて産業の發達を圖るやうにしなければならぬ、それをするには矢張り伊太利のやうに組合大臣を置いて、組合大臣が其各組合を統制すると云ふ組織にしなければいけないと云ふのである。是が大體産業組合に對するモズレーの意見の骨子のやうである。もう

一つは政治の改革に關するモズレーの意見である。御承知の通り英吉利の内閣は餘程サイズが大きいので、十九世紀の中頃までは十二三人の閣員であつたが、二十世紀になつてからは普通大臣の数が二十人、多い時は二十一人、其外に閣外の大臣が数名あるから、大臣と云ふ名を持つて居る人が二十三人以上にもなるのである。斯う云ふ多数の大臣が集つて國策を審議すると云ふことは、知識を集めると云ふ點から言へば大變結構であるけれども、どうしても決定が遅れる。それ故に之を改革するには大臣の数を極端に制限する、斯う云ふ意見は英吉利でもすつと前からあつたのである。オルデを委員長として内閣制度に關する調査をやつた時の結論も矢張り大臣の数を少くして、内閣をもつと強いものにする、と云ふ意見だつたやうである。此意見は歐羅巴戦争中に於てロイドジョージが既に實行して居る、ロイドジョージの時は總理大臣とも五人の内閣であつた。其内大臣のロナードだけが官職を持つて居つて、あとは皆無任所大臣であつた。モズレーの内閣改造の意見もそれと同じやうに、大臣の数を五人に制限する、而も其五人の大臣は各省の長官を兼ねない、本當の無任所大臣にしなければならぬ。それからファッシュヨの内閣が出来ると同時に、此内閣に對して絶大の權力を與へなければならぬ、其中でも最も重要な經濟問題の解決に關しては、議會の協賛を経ずして勅令で施行するだけの權力を與へなければならぬ。是は内閣が出来ると同時に、それだけの權力を與へると云ふ法案を提出して、さうして、さう云ふ權力を内閣に與へやうと云ふのである。それから議會の方はどうするかと言へば、議會の權力を極端に制限する。モズレーは諮問機關と云ふ言葉を使つては居らぬが、モズレーの言ふやうなことにすると、議會は諮問機關になつてしまふのである。大抵の問題は議案の審査期限を定めて、一定期間内に決定させる。是は日本の方と違つて英吉利では會期の長い關係で、一つの議案に對する審議が大分長く掛かる。それから反對黨の言論を尊重する關係もあつて決定が中々出来ないことがあるが、それを又濫用することもあり得るので、さう云ふやうなことを矯正するのも一つの目的であらうが、兎に角大抵の議案は審査期限を付けて議會に懸ける。さう

して其審査期限が来れば其問題が議會で普通の言葉で言へば審議が十分に出来て居ないでも、決定してしまふと云ふやうな風にスピード・アップで行かうと云ふこと、それから又重大な問題に付いては議會から修正の權利を取つてしまふ、唯賛成するか反對するかと云ふ權利だけを與へて、從來の修正の權利を取つてしまふ、言葉を換へて言へば原案に唯賛成するだけの權利を與へて行かうと云ふのであるから、伊太利の議會と餘り變らないやうな制度にしやうと云ふ考らしいのである。併し議會改革に關するモズレーの意見はそればかりでなく、モズレーの考に依ると、組合會議と云ふもので國家の重大な問題の大部分を審議決定するのである。貴族院と云ふやうなものももう存在する必要はない、貴族院は組合會議の出来ると同時に廢止すべきである、と云ふ急進的の意見を持つて居る。

是が政治機構の改革に對するモズレーの意見の大體である。ちよつと見るとモズレーの意見はムツソリニーのやり方とは少し違つて居るやうにも見えるのである。ムツソリニーは議會を骨抜きにして、總理大臣に全權を與へやうと云ふのであつて、現にさう云ふ地位にムツソリニーは立つて居るのである。モズレーは唯一人の人に權力を與へやうと云ふことは言はない、内閣の五人の大臣に絶大な權力を與へやうと云ふのであるから、ムツソリニーのやり方とは少し違ふやうであるが、假にモズレーが内閣を組織するやうなことがあるとすれば、結果に於ては結局總理大臣が非常に大きな權力を持つて、總理大臣自身の考でどうにでもなるやうなことになるはしないかと考へられるのである。經濟に對する意見は兎に角、議會をさう云ふやうな風に改造すると云ふことは、議會主義の立場から言ふと、非常に反對しなければならぬことである、議會政治の本家本元と言はれる英吉利にさう云ふ意見が起つたと云ふことは、餘程注意すべきことのやうに思ふ。併ながら私は歴史的に考へてモズレーのやうな人がモズレーのやうな運動を英吉利に起したと云ふことは餘り不思議ではないと思ふ。何故かといふと、議會政治の現在のやり方に對しては、英吉利の議會主義者と言はれる人々の間にも大分異論がある。是は何處でも言ふことであるが、議會政治はどうもスピード・ア

ツプに行かない、現代に於て必要なものはスピードであるが、どうも議會政治になると議論ばかり多くてスピード・アップに行かないと云ふ意見が、英吉利人の間にも大分ある。モズレーの意見はさう云ふ人達の意見を代表して居るところは事實であらうと思ふ。さう考へて来ると英吉利に於てモズレーのやうな意見が起つたのは何も不思議でないと思ふ。そればかりではない。例へば是はモズレーの意見の一部を成すものであるが、貴族院廢止問題の如き、是はモズレー式の貴族院廢止を唱へて居るのではないが、モズレーと全く反対の左翼獨立労働黨の中にも貴族院廢止論はある。勿論動機は違ふが、獨立労働黨のリーダーのクリップスなども貴族院廢止論を唱へて居る。何故貴族院を廢止しなければならぬかと云ふと、將來労働黨内閣が出来た時には、今までやつたやうな労働黨内閣のやり方ではいかぬ、どんなことがあつても政策を遂行する爲には貴族院と云ふ難關を突破して行かなければならぬ。所が貴族院には約七百五十人の議員が居る。勿論七百五十人の中には二十五六人の未成年者が居るから、それを除かなければならぬのであるが、兎に角七百二十三人と云ふ多数の議員が居る、其大部分は保守黨である。保守黨の方に屬しない者は約百人の自由黨、労働黨に至つては僅かに十七八人に過ぎない。労働黨の政策はどんなことがあつても、それが重大なものである限り、例へば政治機構、經濟機構を變へやうと云ふやうな大きな問題に關する限りは、必ず貴族院で否決されるに決つて居る。それが爲に社會主義の徹底した政策を行ふには貴族院を廢止して掛からなければならぬ。それには労働黨が内閣を取ると同時に先づ皇帝に向つて貴族院廢止の勅許を得る、さうして皇帝の勅許を得た後に貴族院廢止を旗印として總選舉を行つて、さうして國民からマンデイトを得る。それから貴族院が反對するならば、五百人なり六百人の反對を打破るだけの貴族を製造して、其貴族の力に依つて貴族院廢止論を通すと云ふやうなことをしやうと云ふ。傳統を重んずる英吉利に於て貴族院を廢止すると云ふことは到底不可能である、又さう云ふことをやらないのが英吉利の政治の良い所で、さう云ふ急激なる議論は、議論としては値打があるかも知れぬが、實行に至つては殆

ど値打がないと思ふが、兎に角モズレーにしてもクリップスにしても、さう云ふ議論を唱へて居る。労働者や若い人達の間には大分賛成者もあるだらうと思ふ。さう云ふやうな譯で、モズレーの意見は兎に角社會の何分の一かの不平を代表し、何分の一かの要求を代表して居る。明年の總選舉に於ては相當に得票があるのではないかと思つて居る。三一年の總選舉にもモズレーの新政黨は慘敗したけれども、來年の總選舉には、ことに依ると何人かの代議士が出るのではないかと想像して居る。併し假に五人なり十人なりの代議士が出て、ファッシュヨ運動としての勢力がもつと加はつても、私はモズレーの運動が議會に取つて代る程に發展するやうなことは、先づなからうと思ふ。と云ふのは、議會政治と云ふものは、私が申上げるまでもなく、英吉利の生え抜きの制度である。外國から輸入した制度ではない。共產黨或は急進的な労働黨などに言はせると、議會制度と云ふものはブルジョアの制度であると言ふが、兎に角英吉利人の氣風なり、やり方なり傳統なりに議會政治と云ふものは非常に合つて居る。之を變へて伊太利のやうに、或は獨逸、露西亞のやうに、あゝ云ふ政治形態で行かうと云ふことは英吉利人が承知しない。英吉利人の性格、趣味に合はない譯であるから、モズレーの運動が如何に勢力を得た所で、是は凡そ限りのあるものであらうと私は思つて居る。

それならば英吉利人、少くとも英吉利の當局者と云ふやうな人達は、何故議會政治に對して眞向から反對し、之を打ち壊さうとすることを目的として居るファッシュヨ運動を取締らぬかと云ふ疑問が起るかも知れぬ。併し是はさう云ふものを取締らないのが英吉利の議會政治の一つの特徴なのである。日本のやうに政黨が出来たら之を役所に届出ると云ふやうな必要はない。共產黨だらうが、何だらうがやらうと思へば誰が何時どんな黨を造つても、英吉利では差支ない。歐羅巴戦争後共產黨が起つて、一萬何千人かの正式の黨員を持つて、今でも存在して居る。さうして毎年共產黨の大會を開いて、随分激烈な決議を發表して居る。公園に行つても共產黨の演説をやる、之をやらして置いて、

別段さう表向きの取締はして居ないやうに見える。併し肝心な所は矢張り取締つて居る、例へば共産黨員が印度へ行くと言つても旅券を渡さぬ。斯う云ふやうな調子で、言論でやつて居る限りは、もう大抵のことは許して居る。何時か獨逸人の書いた物を見たが、其獨逸人がハイドパークに行つて、或る者の演説をするのを聴いて居つた。さうすると、其男が、自分は暴力を以て現内閣を倒すと言つた。其演説が終つたあとで、警察官が来て其演説をした男を警察へ連れて行つた。さうして署長が面會して、『お前は今公園で暴力を以て内閣を倒すと言つたさうだが其通りか』、『さうです』、『あゝさうか、そんなら一つ倒して見るが』と言つて取調べも何もせずに其儘返した。それを獨逸人が見て非常に感心して居る。さう云ふやうな國柄である。共産黨の言ふことなどは、あれは氣狂の言ふことで、英吉利人のやうな常識を多分に持つて居るものが、誰がどんなことを言はうが、我々は關せず焉、だから我々はそんなことに干渉せず居るから、取締とか何とか窮屈なことをやらぬのである。唯現在は前に述べた通り、議會主義に對して矢張りさう云ふ寛大な態度と言ひますか自由に運動を許して居る。ファッショなるものはあつても構はぬと云ふ寛容な態度を取つて居るから、取締とか何とか窮屈なことをやらぬのである。唯現在は前に述べた通り、議會主義に對して不平を持つて居る。さう云ふ人達と又之も群衆心理と申しませうか、自分達の間から出た舶來でないファッショ運動其運動に對して多少の好奇心を持つて居る者が居る。それで英吉利の議會政治に對しての色々な批評があるのであるが、英吉利の議會政治は時代と共に變り得る適應性を持つて居るから、將來時勢の變遷に従つてやり方は餘程變るだらうと思ふ。が、併し急激にこれまでの方向を轉換してファッショに向ふとか、共産黨の方に向ふと云ふやうな、さう云ふ急激な變化は先づ來ないものと私は見て居る。ファッショの實行のポシビリイテイは何處にあるかといへば、議會政治がどうしても駄目だ、議會政治が絶望になつて、丁度獨逸のやうに共産黨で行くか、ファッショで行くかと云ふやうな、二つに一つと云ふやうな國家存亡の場合が來ない限りファッショを選ぶかどうかと云ふ問題は英吉利で

は起らぬと思つて居る。現在の所さう云ふ時代は我々の想像力を以てしては、英吉利としては到達しないと思ふ。勿論世界の變化は非常に激しいのであるから、何時どう云ふ所にどう云ふ變化が起ると云ふことは、何人も的確に言ふことは出來ないのであるが、英吉利の政治の傾向から見れば、労働黨のクリップスの言ふやうな議論も、實行も出來ずモズレーの主張するやうなファッショの實行も出來ない。唯幾分か時代の變遷に従つて議會政治のやり方が變るだらう、是は一九三一年の財政の危機で、政黨政治の變型としての國民内閣が出來たと云ふやうなことに依つても分るのである。國民内閣が出來たからと言つて議會政治が行詰りになつたとは、私達はどうも思へない。今までの英吉利の議會政治の歴史から見ても、斯う云ふことはあり得ることである、あり得ないことが突然に出來たのではない。ファッショが成功するかどうかと云ふやうなことは、外の政治知識の發達しない政治的訓練のない又政治的傳統のない國に於ては問題になつて、さう云ふ國では多くファッショが成功する可能性がある。併し英吉利人の如き傳統を持つた國民の、あの傳統が變らない限りに於ては、ファッショは實際政治の問題に是以上なると云ふことは、私は餘り望みはないだらうと思つて居る。(昭和十年二月十九日)

新日本同盟會報

會員の異動

前號所報後の會員異動左の如し。

◎新入會員

清水 重 夫氏 警察講習所教授、麴町區三番町六ノ四

◎轉居轉任

香坂 昌 康氏 品川區上大崎長者九二七八 電話高輪一
二一七
山口 安 憲氏 世田ヶ谷區代田二ノ九五七 電話世田ヶ
谷一〇〇一
林 壽 夫氏 西日比谷拓務省內南洋廳出張所
片野 重 脩氏 澁谷區大和田町九三
高野 源 進氏 麴町區年町官舎
中里 喜 一氏 麴町區年町官舎
上田 誠 一氏 麴町區九ノ内警保局官舎

一四

田 中 修 鹿兒島市總務部長官舎
竹谷 源太郎氏 芝區芝公園官舎
本 間 精氏 麴町區年町警視廳官舎
横山 助 成氏 芝區芝公園知事官舎
縣 忍氏 杉並區高圓寺六ノ六六三 電話四谷四七
四七
白根 竹 介氏 澁谷區代々木初臺五七〇 電話四谷三三
三
岡 田 周 造氏 牛込區市ヶ谷藥王寺町四五官舎
鈴木 信太郎氏 京都市知事官舎
石 田 馨氏 横濱市知事官舎
田中 廣太郎氏 長崎市知事官舎
安藤 狂四郎氏 水戸市知事官舎
一 戸 二 郎氏 奈良市知事官舎
阿 部 嘉 七氏 靜岡市知事官舎
土 屋 正 三氏 甲府市知事官舎
坂 間 棟 治氏 岐阜市知事官舎
大 村 清 一氏 長野市知事官舎
生 駒 高 常氏 金澤市知事官舎
鈴 木 敬 一氏 廣島市知事官舎
關 屋 延之助氏 熊本市知事官舎
栗 屋 仙 吉氏 名古屋市長官舎
安 岡 正 光氏 廣島市長官舎
稻垣 潤太郎氏 高松市長官舎

高山 愷 爾氏 釜山府寶水町一ノ一四六

(以上)

土岐 銀次郎氏 大阪市長官舎
鈴木 登氏 京都市經濟部長官舎
梁井 淳 二氏 長崎市經濟部長官舎
石建 國次郎氏 津市經濟部長官舎
多 胡 實 夫氏 靜岡市經濟部長官舎
久 保 田 峻氏 松山市經濟部長官舎
松 島 源 造氏 熊本市經濟部長官舎
武 政 隆 一氏 沖繩市經濟部長官舎
安 井 章 一氏 青森市經濟部長官舎
薄 田 美 朝氏 京都市警察部長官舎
山 本 義 章氏 千葉市警察部長官舎
八 田 三 郎氏 水戸市警察部長官舎
橋 本 清 吉氏 靜岡市警察部長官舎
藏 重 久氏 神戸市總務部長官舎
王 田 昇次郎氏 浦和市總務部長官舎
竹 田 武 男氏 奈良市長官舎
足 立 收氏 靜岡市長官舎
山 口 尙 章氏 福井市長官舎
辻 野 三 郎氏 山口市總務部長官舎
内 藤 晴三郎氏 大分市長官舎
岩 重 隆 治氏 千葉市長官舎
諸 橋 襄氏 福島市長官舎
岡 利 和氏 高松市中新町官舎
木 殿 寅 榮氏 大津市膳所中ノ庄二六六

一五

新日本同盟規約

- 第一條 本會ハ新日本同盟ト稱ス
- 第二條 本會ハ同志相結ビ、内政、外交、經濟、社會各般ノ重要ナル時事問題ニ關シ公正明確ナル智識ヲ涵養シ併セテ政治道徳ヲ振興スルヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
- 一、前條ノ事項ニ關スル調査研究
 - 一、講演會、講習會又ハ談話會ノ開催
 - 一、會報及冊子ノ發行
 - 一、其他前條ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事項
- 第四條 本會ハ本部ヲ東京ニ支部ヲ各地方ニ置ク
- 第五條 本會ノ經費ハ會費及寄附金ヲ以テ之ヲ支辨ス
- 第六條 本會々費ハ年額三圓トス
- 第七條 新ニ會員ヲ入會セシムルハ本部又ハ支部ニ會員ノ紹介ヲ以テ入會ノ申込ヲ爲シタル者ニ付本部幹事會ニ於テ之ヲ決定ス
- 第八條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 幹事 若干名 評議員 若干名
- 第九條 最初ノ幹事ハ發起人會ニ於テ之ヲ選任ス
- 幹事ハ常務幹事若干名ヲ互選ス
- 第十條 幹事及評議員ヲ新ニ選任シ又ハ解任セントスルトキハ幹事會ニ於テ幹事三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ決定ス

第十一條 幹事會ハ會務ヲ審議決定ス

但シ事項ヲ定メテ常任幹事ノ決定ニ委任スルコトヲ得

第十二條 常務幹事ハ幹事會ノ決定ニ基キ會務ヲ執行ス

第十三條 評議員ハ左ノ事項ヲ審議ス

一、毎年度ノ通常豫算

二、其他幹事會ニ於テ評議員ニ附議スルヲ必要ト認メタル事項

第十四條 支部ノ組織ハ本部ノ同意ヲ得テ其ノ支部ニ於テ之ヲ定ム

第十五條 本會々員ニシテ本會ノ目的ニ反スル行動アルモノハ本部ノ幹事會(支部アル地方ニアリテハ支部)ノ決議ヲ經テ之ヲ除名スルコトヲ得

新日本同盟役員

△幹事(いろは順)

伊藤文吉	緒方竹虎	太田正孝	河上哲太
田中武雄	田澤義鋪	瀧正雄	根岸信
丸山鶴吉	近衛文磨	後藤文夫	城戸元亮
關口一郎			

◎常務幹事

田澤義鋪	丸山鶴吉
後藤文夫	關口一郎

終

昭和十年三月廿五日印刷
昭和十年四月五日發行
【非賣品】
【以印刷代謄寫】
東京市麹町區日比谷公園東京市政會館內
編輯兼發行人 關 口 一 郎
印刷人 福 井 安 久 太
東京市芝區田村町四丁目二〇番地
發行所 新日本同盟
東京市麹町區日比谷公園東京市政會館內
電話 銀座二四五番